

北海道開発局は、組織を挙げて節電に取り組みます

平成30年北海道胆振東部地震による大規模停電を受け、北海道開発局は、下記のとおり、管理する道路やトンネルの照明点灯の工夫、全道に立地する庁舎の節電の徹底等、組織を挙げて節電に取り組みます。

ドライバーの皆様におかれましては、夕方の早めのライト点灯など、歩行者や他の走行車両に十分注意して走行していただくようお願いします。

節電の取組みの趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

記

○ 節電のための具体的な取組

・道路照明灯

道路照明灯(約4万灯)のうち、交通安全上必要最小限の箇所である交差点部やランプ合流部などを除く、約半数の照明灯を消灯します。

・トンネルの照明

全てのトンネル(272箇所)において、通常、トンネル入口部は明るい照明にしていますが、節電のため、夜間と同程度に減灯します。

・道路情報板

全ての道路情報板(1,100面)において、通行止めなど緊急情報の提供時以外は消灯します。

・北海道開発局庁舎の節電等の徹底

北海道開発局の全庁舎において、執務エリアの照明間引き、使用していないエリアの消灯徹底、長時間離席時の電源オフなどを実施します。

また、北海道開発局が保有する自家発電機を稼働させ、事務事業に必要な電力をまかなうことで、商用電力の使用を極力控えます。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話(代表) 011-709-2311

(庁舎関係等) 開発監理部 会計課 課長補佐 小室 直紀 (内線5234)

(電気通信関係) 事業振興部 機械課 電気通信官 中林 道敏 (内線5331)

(道路関係) 建設部 道路維持課 課長補佐 高山 博幸 (内線5384)

建設部 道路維持課 課長補佐 布施 純 (内線5821)

